

2017年3月8日

森林保全活動で生まれる間伐材を有効活用
栃木県産の間伐材を活用したノベルティを制作

～2017年4月21日（金）から運行開始の新型特急車両「リバティ」をデザイン～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、環境保全のための様々な取り組みの一環として、2014年1月より栃木県企業局、壬生町と連携し、当社が栃木県壬生町に保有する山林「とうぶの森 とちぎ中央」にて森林保全活動を行っておりますが、このたび、同森林から出る間伐材を活用して、本年4月21日より運行を開始する新型特急車両「リバティ」をデザインしたノベルティを制作します。

間伐材を活用したノベルティ制作は当社初の取り組みであり、当社の環境活動の紹介に加え、26年ぶりの新型特急車両となる「リバティ」をデザインすることで、同車両の運行開始を広く知っていただくことを目的としています。

制作するノベルティは、ヒノキを素材とした「オリジナルマグネット」と「スマートフォンスタンド」の2種類で、「オリジナルマグネット」は、「リバティ」の車体をかたどった小さなお子様向けのデザイン、また、「スマートフォンスタンド」は、ヒノキの木目を活かしながら、「リバティ」のロゴマークを焼印したシンプルなデザインとなっています。

同ノベルティは、「とうぶの森 とちぎ中央」における森林保全活動にご参加いただいた地元の小学生の皆様へ配布するほか、「リバティ」の関連イベント等にて配布する予定です。

なお、当社は同じ栃木県内である宇都宮市の社有林において、環境省のJ-VER制度を活用し、地元森林組合の協力を得て実施した間伐によるCO₂吸収量について、オフセット・クレジット（J-VER）も取得しており、今後も引き続き環境保全のための取り組みを積極的に推進してまいります。

詳細は別紙のとおりです。

以上



△オリジナルマグネット
（イメージ）



△スマートフォンスタンド
（イメージ）

間伐材を活用したノベルティの概要について

1 名称・仕様

(1) 新型特急「リバティ」 オリジナルマグネット

- ①素 材 ヒノキ (当社所有林「とうぶの森 とちぎ中央」における間伐材)
- ②サ イ ズ 縦34mm 横45mm 厚さ5mm

(2) 新型特急「リバティ」 スマートフォンスタンド

- ①素 材 ヒノキ (当社所有林「とうぶの森 とちぎ中央」における間伐材)
- ②サ イ ズ 縦133mm 横70mm 厚さ5mm

2 とうぶの森 とちぎ中央について

2014年1月に、森林がもつ公益的機能の向上と森林・林業に対する理解の促進を図ることを目的に、栃木県企業局・栃木県・壬生町・当社の4者で締結した「とうぶの森 とちぎ中央」づくりに関する協定に基づき、当社が所有する山林において、栃木県企業局が事業主体となり里山林整備を行うものです。土地所有者である当社は、枝打ちや環境学習等を栃木県企業局、壬生町と協働で実施しています。



△ 枝打ちの様子

3 環境保全のための取組みについて

栃木県宇都宮市の社有林において、環境省が地球温暖化対策のために創設したJ-VER制度を活用し、地元森林組合の協力を得て実施した間伐によるCO₂吸収量について、オフセット・クレジット (J-VER) の認証を取得しています。取得したJ-VERは、東武タワースカイツリーや東武トップツアーズ等の業務やイベントで発生するCO₂排出量とのオフセット (埋め合わせ) に利用しています。

以 上

<参 考>

新型特急車両「リバティ」について

2017年4月21日に実施するダイヤ改正に合わせて導入する「リバティ」は、「さまざまな運行形態で運用可能な速達性と快適性を持った特急列車」をコンセプトに開発された、当社では26年ぶりの新型特急車両です。車両愛称名「リバティ (Revaty)」とは、①「Variety」(併結・分割機能を活かした多線区での運行)、②「Liberty」(当社路線を縦横無尽に運行する自由度の高さ) から生まれた造語で、多様な運行形態により様々なお客さまのニーズにお応えすることを表しています。

「リバティ」は、東武スカイツリーライン・伊勢崎線・日光線・鬼怒川線・東武アーバンパークラインをフレキシブルに運転し、さらには相互直通運転をしている野岩鉄道・会津鉄道までと、広域な路線を自由自在に運転し、観光から通勤・通学まで、さまざまな目的に合わせて幅広くご利用いただけます。

当社では、「リバティ」導入により新たな運行形態を構築し、今まで以上に特急列車の利便性・快適性の向上を図ってまいります。



△ リバティ車両外観



△ リバティ車両内観

以 上